

MCC雑感2008-9

於：丸紅本社1階 コンチェルト

参加：12名

1) 今月のテーマ「光ディスク」

光ディスク



CDやDVDの所謂「光ディスク」は、音楽・映像の再生の用途で、今や家電品の非常に貴重なメディアとして重宝されています。

周囲を見ても、ツタヤのレンタルDVD、音楽CDなどはもはや生活必需品のように考えられていますが、これらは概ねROM（Read only memory）として作られ、使われているわけで、このような使われ方である限り、子供でも簡単に使いこなしているのですから、難しいことはありません。

またパソコンの世界ではデータの記録・保存やソフトウェアのコンテンツの媒体として大活躍しているものの、ただ「読む」だけでなく、「書く」ことも必要となり、日常的にパソコンの操作でCD、DVDを、全く不自由なく使っているか、また自分でコピーを作ったりすることが出来るかと、云われると、これはかなり難解な代物で、自家薬籠中のものとしてマスターすることは非常に難しい面があるのです。

おまけに、更に厄介なことはIT世界の常として、光ディスクもまた日進月歩どころか、目まぐるしい進化を続けており、これは一寸前の知識は役に立たないという有難いけれども、頭痛のタネでもあるのです。

このような競争社会の切磋琢磨により、我々はその果実を享受しているのですが、反面あまりにも激しい競争の故に、実に多種多様な製品が次々に登場してしまい、この間の規格の不統一や互換性のないことが、ユーザーには非常に煩瑣な問題ともなっているわけで、これは技術進化の持つ二面性であります。

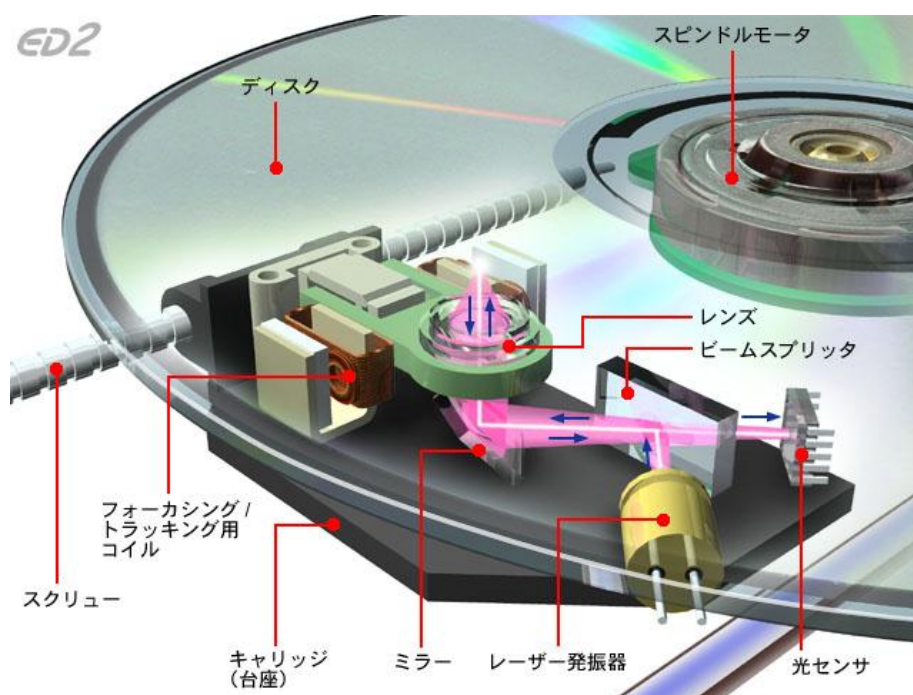
かくして、我々のような素人ユーザーは、折角の非常に有能なメディアを、ど

のように最大限に活用できるかには、少しはお勉強すること、常に進化をウォッチすることが喫緊の課題となる次第です。

1) 光ディスクとは何か

「光ディスク」とは、光学ドライブ装置を使い、光（半導体レーザー）の反射により、データを読み書きする記録媒体（メディア）のことです。

ディスクにはピット（小さな穴）が刻み込まれており、レーザー光線を当てるとピットの窪みでは乱反射を起こしますので、それを光センサーで読み取って解読することにより、データの再生がなされるのです。



2) 光ディスクの種類

極く大雑把に云えば、光ディスクは進化の過程で容量の増大という至上命題に答えて来ましたので、現在使われている光ディスクは、歴史的にも、容量の面からも3つに大別されます。

- i) **CD (Compact Disc)** 540MB～700MB
1980年代に登場、赤外線半導体レーザーを使用する。この時期登場したレーザーディスクは、その後衰退した。
- ii) **DVD (Digital Versatile Disc)** 4.7GB～9.4GB
1990年代に登場、赤色半導体レーザーを使用する。片面2層、両面なども出現した。
- iii) **BD (Blu-ray Disc)** 25GB～50GB
2000年代に登場、青紫色半導体レーザーを使用する。世界を真っ二つに割った主導権争いが続いたが、東芝陣営のHD-DVDが2008年春撤退して決着が着いた。
- iv) **HVD (Holographic Versatile Disc)**
未だ開発途上の、第四世代光ディスク。
赤と青緑の2色の半導体レーザーを使用する。

i) CD

現在はオレンジフォーラム（最近CDs 21ソリューションとなった）を策定団体として、大部分のメーカーがこれに所属しているので、規格の問題はほぼ解消したと考えてよく、音楽CDとCD-ROMの規格をベースとしています。容量は700MBが上限、価格はCD-R（一回だけの書き込み）で¥30～¥250 CD-RW（書き換え可能）で¥120～¥300。

CD-ROMというのは極く普通に子供でも知っている商品であり、非常に安価で扱いも簡単ですから、音楽、ゲーム、パソコンのソフトなどに大量に使われております。

しかしながら、700MBという上限の容量はデータ保存の容量としては、もはや十分とは云えないので、パソコンのデータ保存のためのメディアとしての役割は限定的とならざるを得ません。

パソコンのバックアップ・データの保存とか、データの伝達のためには、今やCDよりは、むしろUSBメモリーやオンライン・ストレージを使う方が遙か

に簡単で便利なので、嘗てのフロッピー・ディスクと同様にCDもこのような仕様面衰退期を迎えております。

ii) DVD

業界はDVDフォーラム (DVD-R, DVD-RW, DVD-RAM) とDVDアライアンス (DVD+R, DVD+RW) とに二分されていますが、スーパーマルチドライブが完全に普及してしまっているため、読み取りだけなら、互換性の問題はかなり解消されて来ています。

しかしながら、DVDを自分で焼くとなると、これはまだまだ非常に厄介で、他人の作ったDVDが読めない、パソコンとDVDプレーヤーとの互換性が無いというような話は日常茶飯事であります。

実はこの点こそが今月のテーマアップの主たるポイントなのです。

映像コンテンツが主たる対象になるわけですが、多層メディアが出現して容量は将来更に大きく出来る可能性もあるようです。

価格は

DVD-R (1層4.7GB, 2層8.5GB)	¥40~¥800
DVD-RW 4.7GB	¥200~1000
DVD-RAM (片面4.7GB, 両面9.4GB)	¥250~1100

DVD+R (1層4.7GB, 2層8.5GB)	¥110~1000
DVD+RW 4.7GB	¥250~500

ハイビジョン映像で適正に焼けば1時間ですが、画質を落としてしまえば、3時間くらいまでを一枚で焼くことが可能ですから、テレビ録画用のメディアとしては十分役に立ちます。

iii) BD

2008年春、長年覇を競って来たBlu-rayとHD-DVDの争いに決着がついて、東芝陣営が撤退したため、ユーザーにとっては一安心です。

しかしながら、未だドライブが販売開始されたばかりであり、メディアも高額なので、普及は今後の問題となりましょう。

現時点での価格は

BD-R (1層25GB、2層50GB) ¥650~2000
BD-RE (々) ¥1100~4000

2) 外の世界

(イ) 福田首相の無責任退陣

9月2日、突然のことだったが、
昨年の安倍に続いて、またもや首相が
自分からマウンドを降りてしまった。
無責任な二世議員の所以なるや？

それにしても、日本人の大半は何とも形容
し難い怒りを覚えているのでは！？



(ロ) 北の湖理事長も遂に首を差し出す

国技という美名に隠れて、やりたい放題の相撲協会、これだけスキャン
ダルが続出し、おまけに自分の部屋から大麻吸引疑惑が噴出しては・・・
それにしても如何にも潔くなかった辞任ではあった。

(ハ) イチローの快挙

8年連続の200安打、云うは易いが、
何と107年ぶり・・・と、云うよりは
近代野球を1993年のワールドシリ
ーズ開幕 (つまり両リーグ制のスター
ト) からと考えると、未曾有の金字塔な
のである！！

MLBの年間200安打連続記録は、

Willie Keeler	1894~1901	8年
Wade Boggs	1983~1989	7年



—以上—